

1891年(明治24年)

濃尾地震から130年

令和3年10月8日  
国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所

## 大規模な土砂災害に備えるため

地域防災に携わる20団体が連携し合同防災訓練を実施します。

～令和3年度 越美山系大規模土砂災害合同防災訓練～

この合同防災訓練は、大規模土砂災害等発生時における関係機関の防災担当職員の災害対応能力の向上に資することを目的とし毎年実施しているものです。  
今年度は、濃尾地震から130年の節目の年であることから、地震を起因とした土砂災害を想定し実施します。  
また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEB会議システムを活用して行います。

## 1. 日時、場所

■日 時 令和3年10月15日(金) 13:00～(訓練概要は **別紙-1**)■場 所 越美山系砂防事務所(岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137)  
各参加機関会議室とWEBで接続

■参加機関 20団体

## 2. 取材事前登録のお願い

●来場人数を事前に把握するために、取材をご希望される機関は事前登録をお願いしております。

取材登録書に必要事項をご記入の上、期日までに提出をお願いいたします。

●訓練当日は入り口にて受付(12:30～13:00)をお願いいたします。

## 3. 取材対象箇所

●Web会議システムを活用した訓練のため、参加者は各機関の会議室等から訓練に参加するため、取材対象は、越美山系砂防事務所、揖斐川町役場とさせていただきます。

## 4. 注意点

●当訓練では、参加者を必要最小限にし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため下記の取組みを併せて訓練を実施します。

①社会的距離(ソーシャルディスタンス)の確保

②飛沫の防止(換気等)

③受付時の体調確認

●ご来場時には、マスクの着用をお願いいたします。

(問い合わせ先)

越美山系砂防事務所 副所長 神野 祐一  
調査課長 土屋 郁夫  
TEL 0585-22-2161いのちとくらしをまもる  
防 災 減 災

# 令和3年度 越美山系大規模土砂災害合同防災訓練

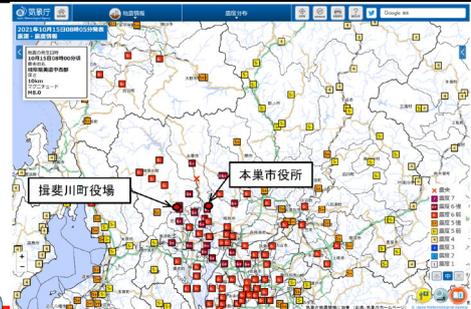
地震を起因とした同時多発的に発生する大規模な土砂災害に対し、揖斐川町、本巣市、岐阜県及び国土交通省等の各防災担当者の災害対応能力の向上に資することを目的としています。

今年は、1891年10月28日に旧根尾村で大規模崩壊が発生させ、県下にも多くの被害をもたらした濃尾地震の発生から130年の節目の年でもあることから、地震を起因とした土砂災害を想定しています。

また、今年は訓練進行役からの質問に各機関が対応を回答していくことにより、参加者全員が情報を共有しながら訓練を進める学習型形式で訓練を行います。

## ■想定災害

- 震度
  - 揖斐川町 震度6強
  - 本巣市 震度6強
- 内容：
  - 同時多発的土砂災害 7箇所
  - (河道閉塞、がけ崩れ、地すべり)
- 訓練シナリオ



## ■参加予定期間 ■タイムスケジュール

国土交通省	中部地方整備局、木曾川上流河川事務所、越美山系砂防事務所、木曾川水系ダム統合管理事務所 横山ダム管理支所
気象庁	岐阜地方気象台
岐阜県	危機管理部、県土整備部、岐阜土木事務所、揖斐県事務所、揖斐土木事務所
市町	本巣市、揖斐川町
警察	岐阜県北方警察署、岐阜県揖斐警察署
消防	岐阜市消防本部、揖斐郡消防組合
関係機関	(一社) 岐阜土木工業会 (一社) 揖斐建設業協会 (独) 水資源機構徳山ダム管理所 中部電力(株) 越美山系砂防ボランティア協会

時間	内容
12:30~13:00	集合、受付開始
13:00~13:20	開会式(揖斐川町長挨拶他)
13:20~16:20	学習型方式防災訓練
16:20~17:00	訓練振り返り(意見交換)
17:00	閉会

## 令和3年度 越美山系大規模土砂災害合同防災訓練 取材登録書

当訓練の取材をご希望される機関におかれましては、事前登録のためこちらの取材登録書を期限までにメールまたはFAXにて提出をお願いいたします。

**送信期限 令和3年10月14日（木）17:00まで**

1. 機関名 \_\_\_\_\_
2. 取材記者
  - i) お名前 (代表者) \_\_\_\_\_
  - ii) ご連絡先 電話 \_\_\_\_\_
  - iii) 取材人数 \_\_\_\_\_人（全体）
3. 取材登録書送信先  
越美山系砂防事務所 調査課  
メールアドレス [cbr-etsumicyousa@mlit.go.jp](mailto:cbr-etsumicyousa@mlit.go.jp)  
FAX 0585-22-6971

# 濃尾地震

明治24(1891)年10月28日発生／地震規模:M8.0(推定)

明治24年10月28日旧根尾村水鳥を震源として発生した濃尾地震(M.8.0)は我が国の内陸部に起こった直下型地震としては過去最大のものでした。

震央の岐阜県北西部では断層が形成され、最も顕著なのが水鳥に出現した断層で、上下変位5~6m、水平変位2~4mに達しました。地震による被害も7,000人以上の死者を出すなど、とても悲惨なものでした。



現本巣市根尾水鳥付近(現在の地震断層館付近)から根尾川をはさんで南東方向(根尾川左岸方向)を撮影

## 濃尾地震による土砂災害



①水鳥(旧根尾村)の地震断層崖、右奥は根尾川をはさんで板所山の崩壊状況(岐阜地方気象台蔵)

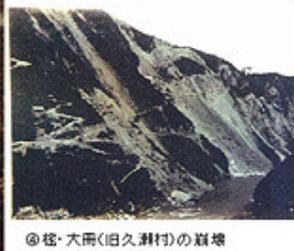
<凡例>  
x : 震央  
①~⑧ : 写真番号  
● : 天然ダムの記録



②水鳥(旧根尾村)左岸の崩壊 (Mine, J.&Burton, YK, The great earthquake in Japan, 1891)



③小津(旧久瀬村)の崩壊 (岐阜地方気象台蔵)



④徳・大田(旧久瀬村)の崩壊 (岐阜地方気象台蔵)



⑤宇津志(旧根尾村)の崩壊 (ROYAL GEOGRAPHICAL SOCIETY)



⑥金原ダント坂付近(日本巣町)の崩壊(瀬古写真株式会社蔵)

### <天然ダムも各所で発生>



「根尾谷地変図」(岐阜地方気象台蔵)  
...⑧箇所の天然ダム(「瀧水(ちよすい)」と表記)が確認できる。  
断層に沿った山腹斜面がほとんど崩れている。



⑧水鳥(旧根尾村)の天然ダム(左図番号⑧) (長崎大学付属図書館蔵)